

たまりば

2025年度 秋号

Communication 通信 

◆ 発行日 2025年10月 ◆ 発行 認定 NPO 法人 フリースペースたまりば
〒211-0044 川崎市中原区新城 2-4-1
セシズイシイ 2 401号
室

<https://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

波乱万丈夏合宿 in 奥多摩

今年の夏合宿を一言で表すなら【波乱万丈】！当然のように八丈島に行く気満々で、みんなで協力し準備や心づもりをしてきたのに、いざ出発当日を迎えたら、まさかの台風発生。行きの船は出るけれど、帰りの便は恐らく出ないことが見て取れる台風の進路予測。船が出ないだけならまだやりようもあるけど、参加者の多くが最も楽しみにしているであろう海では遊べない。荒天の野外では何よりもみんなの命を守る保証がないというのが決定打となり、あえなく八丈島行きを断念しました。

しかし！コロナ禍でもなんとかやり方を工夫して実施してきたえんの夏合宿をあきらめたくない、急遽方々に連絡を回し、合宿ができる段取りを組み、なんとか2日遅れで奥多摩合宿に出発しました！



到着早々に行うテント設営は山に吹く気持ちのいい風のおかげもあって順調に進み、みんなが心待ちにしていた川遊びが満を持して始まりました！海とは一味も二味も違う川遊びは、言うなれば時間との勝負。滝修行に勤しむ者の中には「ずっと水に入っていると段々慣れてくるよ」なんて言う猛者もいれば、信じられ

ないほどの冷たさから早々にリタイアする者も多く、もはや己との戦いです。水中相撲大会も行われ、腕に覚えのある子たちが名乗りをあげましたが、結局、特別参加のとしちゃんが最強だったのだそう。そして川遊びと並行して行われたのがニジマス釣り！放流されたニジマスを交代で釣ります。序盤は餌を入れた途端にお腹を空かしているニジマスが飛びついてくるのですが、時間が経つにつれ、餌だけうまく食べてしまう頭の切れるやつや、お腹いっぱいになってそもそも興味を示さなくなるやつなんかが増えてきて、膠着状態に突入。あちこちで「くやしー！！」という声が響く中、上流から下ってきた難易度 MAX の岩魚を釣る子もいたりして、夕飯ギリギリまで釣りに励み約60匹ものニジマスを釣り上げることができました。釣った魚はみんなで捌き、命に感謝しておいしくいただきました。若者大活躍の BBQ に夕食後の焚き火を囲っての語り、辺りの暗さから一層際立つ満点の星空、今年も麻雀は席の取り合いになるほど盛り上がっていました。2泊3日という短い期間だからこそ走り切ることができた奥多摩合宿だったと思います。最後はみんなで温泉に入り、疲れた体を癒して帰路につきました。間違いなくたまりばの歴史に残る夏でしたが、結局どこに行ってもたまりばの合宿でえんの日常なんだよな～おしまい。(池ちゃん)



認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

お隣さんとe-スポーツ交流会



夢パークと
な
り
に
あ
る
介
護
付
き
有
料
老
人
ホ
ー
ム
「
ク
ラ
ー
チ
溝
の
口
」
入
居
者
の
み
な
さ
ん
と、
フ
リ
ー
ス
ペ
ー
ス
え
ん
に
来
て
い
る
子
ど
も
た
ち
と
で、
一
緒
に
e-ス
ポ
ー
ツ
交
流
会
を
し
ま
し
た
！
入
居
者
の
み
な
さ
ん
は、
日
常
的
に
ク
ラ
ー
チ
で
も
楽
し
ん
で
い
ら
っ
し
や
る
と
い
う、
N
i
n
t
e
n
d
o
 S
w
i
t
c
h
S
p
o
r
t
s
と
い
う
ソ
フ
ト
の
中
か
ら、
ボ
ウ
リ
ン
グ
を
し
て
楽
し
み
ま
し
た
！
最
初
は
チ
ー
ム
ク
ラ
ー
チ、
チ
ー
ム
え
ん
の
2
チ
ー
ム
に
分
か
れ
て
3
ゲ
ー
ム
ほ
ど
楽
し
ん
だ
あ
と、
最
後
は
混
合
チ
ー
ム
で
対
決
！
ス
ト
リ
ア
ク
や
ス
ペ
ア
が
出
て、
イ
ェ
ー
イ
！
と
み
ん
な
で
ハ
イ
タ
ッ
チ
し
て
い
る
様
子
は、
ま
る
で
み
ん
な
で
本
当
の
ボ
ウ
リ
ン
グ
場
に
遊
び
に
来
て
い
る
か
の
よ
う
で
し
た。
次
は
こ
ち
ら
が
ク
ラ
ー
チ
に
フ
ォ
ル
ク
ロ
ー
レ
の
演
奏
し
に
行
く
？
な
ん
て
話
を
し
て
い
ま
す。
世
代
を
超
え
て
い
る
ん
な
交
流
を
し
て
い
き
た
い
で
す
ね
〜♪
(もぐ)

野球大会開催@野球場〜♪



野球大会を開催しました。場所は二子玉川の河川敷の野球場。きっかけは、ある日の会話の中の「グラウンドを借りて野球やりたくない？」という一言。その声に周りの仲間達もやる気満々。使えるグラウンドを探す子、夢パークから野球道具を借りる子、ひたすら練習にはげむ子。それぞれが当日に向けて気合十分！当日は雨の心配もある中、みんなの熱気で快晴！みんな野球のルールは曖昧だったけどなんだかんだ成立するもので、3アウトを取って攻守交代。2対2の同点で迎える最終回の裏、劇的なサヨナラヒットで赤チームの勝利！負けた青チームは悔しさのあまり甲子園でよく見る土を袋にいれるシーンを再現。みんなで真っ黒になって笑顔で帰ってきました！「またやりたいな〜」という声も出ているので第2回野球大会が開催されるかも？！（のすけ）

北九州より生笑一座来たる！

9月23日(祝)、川崎市平和館にて、たまりばと北九州のNPO法人抱樸との共催で、「生笑一座」の公演を開催しました。生笑一座は、野宿経験のあるメンバーが、自らの言葉で経験を語ることで「いのちの大切さ」「助けてと言おう」を伝える、抱樸の取り組みから生まれた活動です。当日は、たまりば関係者と一般来場者合わせ総勢220人を超えるみなさんで、生笑一座のみなさんをお出迎え。ロスエンクエントロスの歓迎演奏の後は、生笑一座のみなさんの体験談を、映像や音楽を交えながら、笑いあり、涙ありでお聴きしました。みんなで「ひょっこりひょうたん島」を踊ったり、会場との質疑応答があったりと盛りだくさんの1日。それぞれの心に「生きていればいつか笑える日がくる」そんな希望の灯りの点った時間になったのではないのでしょうか。(あき)



最近のえんくる食堂

えんくるでは土曜日にカレーランチと食堂を開催しています。平均40〜55食ほど地域の子育て世帯を中心に沢山の人が利用されていて、最近ではママ友のロコミで新しく足を運んで下さる方も増えています。献立は日本の二十四節季に合わせたものと、イベント食(こどもの日、七夕など)を取り入れています。親御さんからは家でなかなか作れないから嬉しい！ということで、レシピをお伝えすることもあります。子どもたちは物珍しいメニューに「これなに？」と興味もってくれたりして、ちょっとした食育だなあと感じています。



ちなみに10月はハロウィン献立で世界の料理を取り入れていきますのでお楽しみに〜。えんくる食堂で食文化と季節を感じてもらえたら嬉しいです。(きな)

指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<https://www.yumepark.net/>



ブリュッケだより

～「にぎどん」で見える風景～

8月下旬の週末。地元・武蔵新城で毎年開かれる「にぎどん夜店市」に、今年もブリュッケとして参加しました。

「にぎどん」は商店街のお祭りですが、毎年かなりの賑わいで、中心となるアーケードはまっすぐ歩けなくなるほどです。今年のブリュッケの出し物は焼き鳥とフランクフルト。ひと月ほど前からみんなで話し合っただけで準備を進めてきました。

当日、慣れたメンバーは積極的に設営を進め、焼き鳥を焼いたりお客さんの呼び込みをしたりと大活躍。「にぎどん」初体験の人は、はじめは戸惑った様子でしたが、そんな仲間の姿を目にしているうちに少しずつ参加していったり…。結局、2日間で焼き鳥1600本、フランクフルト300本を見事売り切りました！こういう特別な日は、若者たちが普段とは違う顔を見せてくれるのが面白いところですね。（岡本）



西んのつばやき



市の教育委員会との会合をはじめ、いろいろな会議で「不登校」という呼称の見直しが話題となっている。私が活動を始めた40年くらい前は、「登校拒否」と呼ばれていた。この言葉が子どもたちの実態を表すにはふさわしくないということになって生まれたのが、「不登校」だった。当たり前に登校することに「不適応」をおこしている子どもたちというニュアンスを含んで、ひとまとめにくられたような印象を持っている。あれから30年近くがたったのだろうか。近年、子どもが不適応をおこしているのではなく、学校教育制度そのものが今の子どもたちに不適応をおこしているのではないかという考え方が急速に広まるようになった。私もそう唱えてきたひとりである。登校を前提として、それに「不」をつけることでネガティブな印象を植え付けるこの言葉を変えるところに着手しなければ、いつまでたっても、世の中の差別的な偏見のまなざしから逃れられない。そこで私のフェイスブックで、人々の意識変革を図るために呼称の見直しを訴えた。そうしたらたくさんの方々から声が寄せられた。ここで皆さんと共有したいと思う。

「マイスタイル登校」「自己選択児」「自由学習児」「フリーランス小(中)学生」「多様な学び」「不登校」「在宅ワーク」「選択登校」「選択学習」「学校外選択」「子別教育」「School of Rock」「自由探求」「登校問題」「非登校」「無登校」等々。それぞれにこのネーミングにしたい人たちの思いがこもっていて、簡単に優劣はつけにくい。学びは「お上」から一方的に与えられ・強制されるものではなく、自由に選択できるものであるという考え方からすると、「自由」「選択」という言葉が入っているのはいいなあと思う。ただそもそも「登校」という言葉をいつまで使うのかということも、引っかかってしまう。学校に行くことは、なぜ「登校」なのか。「登城」を連想される言葉であり、高みに上ることも連想される。学校という選択肢と横並びの呼称を考えるならば、この「登校」「下校」も見直したくなる。ここまで手をつけると時間がかかってしまうかな。でも私は学びの中心が「学校教育」なのではなく、「社会教育」の一部に「学校」もあると考えたいと思っている。社会みんなで育ち・育てあう。いつでも、どこでも、多様な学びの選択肢はある。「不登校」の呼称問題。皆さんから更なるご意見を集めたい。子どもたちの意見も聞かせてね。（西野博之）



HAPPY えんぷりデイ

★夢パの片隅で、手話を使っておしゃべりしながら楽しく過ごす会！がひっそり開かれています。えんの仲間の「やってみたい！」の一声で実現し、子どもや保護者、手話を日常的に使う方々と一緒にのんびり交流。月に1回ほど不定期で開催中です。興味のある方や、しゅわべり会に遭遇したラッキーな方はぜひ立ち寄ってみてくださいね！（わらちゃん）

★7月11日（金）、キャンプを見据えて、参加予定の人を中心に約50人の子ども・若者たちと「救命救急講習会」を行いました！講師としてお呼びしたのは、日本赤十字社でボランティア活動を行っている桜井さん。とってもパワフルだけど、優しいお人柄。海や川で怪我をした際の応急手当や心肺蘇生法など、みんな真剣に聞いて学んでいました。いざという時、たいせつな人を助けることができればスゴイよね！（しもん）

★朝から珍しくえんめし作りに参加した小学生男子二人。となり同士に座って野菜を刻みながら、延々と語り合っていました。どうやら事前に約束していたよう。野菜を切りながらだと深い話ができるのだそうです。結局その日は二人で大量の野菜を全部刻んでくれました。（三好）



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

☆おしらせ～「たまりばメールマガジン」はじめます～☆

たまりばの活動をメールでお届けする「メールマガジン」を発行していくことになりました！

右のQRコードを読み込んで、お名前、メールアドレスを登録いただくと

今後届くようになります。(季節ごと、年4回くらいを予定)

紙媒体でお送りしてきた「たまりば通信」を徐々にこちらへ移行していこうと思っています！

ご不明な点などありましたら、事務局までお知らせください。

TEL… 044-789-9812 E-mail…info@tamariba.org)



↑たまりば通信

メルマガお知らせ.png

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

夢パーク どもゆめ横丁

11月3日(月・祝)11:00～15:00(18:00 閉所)

☆夢パークの広場に子どもたちが考えつく「街」が出現！お店も商品も全部手作り！子どもたちが主役のこの「街」で、今年もみんなの「やりたい」を爆発させるよー。

※4日(火)は臨時施設点検日のため夢パークは閉まっています

※5日(水)「えん」はどもゆめ横丁の代休です

<イベント参加>

★雑居まつり 10月12日(日)10:00～16:00

世田谷区・羽根木公園にて。今年は記念すべき第50回!!

たまりばは焼き鳥・サンマ販売、バザーで参加予定です。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第5回 12月20日(土) 10:00～12:30

第6回 2026年2月21日(土) 10:00～12:30

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

参加費 500円 <要予約・各回先着順>

申込み 第5回…11月6日、第6回…2026年1月5日

12:30から受付開始

※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

☆開催日が近づきましたらホームページでご確認をお願いします☆

たまりばホームページ <https://www.tamariba.org>

たまりば Facebook <https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

ご支援いただきありがとうございます (2025.6.1～2025.8.31)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれなどの不備がございましたら事務局までご連絡ください。)

赤野香織・一将、朱田貴美、朝香喜子、東靖士、安彦景介、新井琴乃、新井野誠、飯沼光津子、五十嵐章夫、板橋聖子、今村久美、入海英里子、岩出孝洋、内田成信、内田孝裕、梅田浩二、大石雄太、太田修嗣、大堀悠、岡田孝子、沖田裕義、沖津三千治、奥田礼子、小原宏一、神山郁恵、亀井彩、亀井三由希、亀ヶ谷護、川松浩司、菊地紫都季、木崎志保、岸紀子、木村純一、熊谷和夫、久米映里、倉方真紀子、古泉聡洋、小出来誠、小林謙太郎、コンペイトウ、齊藤こえ子、坂上優子、佐々木剣、椎野修平、清水彩可、杉山卓也、鈴木晶子、鈴木美汐、住政二郎、田老香奈、竹内昭、田島賢次郎、田邊恵佑、田老幸子、千代木ひかる、塚本志音、土橋優平、手柴充博、中川裕子、中島祥公子、波瀬浩子、新居千文、新田学、野口由美子、野田岳志、橋本誠一、橋本峻、長谷川啓介、長谷川靖子、林貞成、林摘菜、平野知恵、広岡希美、廣瀬聡、廣渡明子、細田和恵、堀池雄司、本田正男、町田恵美、松浦えりか、三浦理絵、三ツ井幸子、宮崎芳正、村手敦、森口幸信、森田和菜、安田靖子、山口正芳、山下泰司、山下晴子、山下美智代、山本哲也、吉井望、吉田晶子、吉田純一郎、吉田裕子、吉村友紀子、渡辺まどか、シングルテン株式会社、地域まるごとケアステーション川崎



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

